

科目名		担当教員名	学期
組織分析と企業変革 Organization Analysis and Corporate Change		磯村 和人	後期
目的	授業の目的は、マクロ的、ミクロ的視点から組織を分析する枠組を学ぶことにある。また、このフレームワークを活用し、組織が抱えている具体的な問題点を洗い出し、企業変革を進めていくための提案を策定する方法を習得する。		
概要	授業は2部で構成される。 第1部では、組織をマクロ的な視点から分析するためのフレームワークについて説明し、企業変革を進めていくための基本的な考え方について議論する。 第2部では、組織をミクロ的な視点から分析するための考え方について論じ、組織の問題解決を具体的に進めていくためのアプローチを学習する。		
到達目標	組織を分析するフレームワークを理解し、企業変革や問題解決を進めていくための戦略や戦術を構築し、実行していく力を向上させる。		
成績評価の基準と方法	受講者による2回のプレゼンテーション(25×2=50%)、授業終了時に提出するレポート(25%)、ディスカッションへの参加度(25%)によって評価する。各評価基準については、イントロダクションにおいて詳細に説明する。プレゼンテーション、レポートに対しては、適時、フィードバックを行う。		
履修条件	ディスカッションに積極的に参加し、課題に意欲的、能動的に取り組めること。プレゼンテーションの準備、ケースの読み込み等、事前の予習と復習の時間を十分に確保すること。		
授業計画			
第1週	イントロダクション 授業の具体的な進め方や考え方について説明する。		
第2週	組織のマクロ分析①：外部環境分析と組織戦略 組織の外部環境分析について論じた上で、組織理念と組織戦略との整合性について考える。		
第3週	組織のマクロ分析②：組織形態と組織のライフサイクル 様々な組織のタイプが形成される基礎について考察する。組織の成長プロセスでどのような変化が起きるかを論じる。		
第4週	変化への抵抗 企業変革を阻害する原因について検討する。具体的な問題点として、変化への抵抗、部門間の対立、構造の機能不全などについて論じる。		
第5週	戦略フィットネス・プロセス 企業変革を具体的に進めていくために、どのように改革案を策定していくか、また、どのように策定された案を実行していくかを考える。		

第6週	<p>変革プロジェクトを管理する</p> <p>変革を進めるために、しばしばプロジェクトチームが編成される。それらが成果を上げるためにどのように管理するかを考える。また、変革に関わるケースを取り上げて、ディスカッションを行う。</p>
第7週	<p>プレゼンテーション 第1回</p> <p>職場の組織について外部環境、組織理念、組織戦略、組織構造がどのように構築されているかをご報告した上で、企業変革を進めていくためのアイデアを提案してもらう。</p>
第8週	<p>組織のマイクロ分析①</p> <p>インフォーマル・ネットワーク、組織文化を取り上げて、組織のインフォーマルな側面を分析する。</p>
第9週	<p>組織のマイクロ分析②</p> <p>組織の意思決定に関して影響を及ぼしているコア・グループや対立グループの形成について考える。事例として、労働組合を取り上げる。</p>
第10週	<p>組織のマイクロ分析③</p> <p>組織で強く作用する影響力について、事例を使って、その具体的な姿を議論する。</p>
第11週	<p>変革へのアプローチ①</p> <p>会議を効果的に運営する方法や聴く能力の重要性に関して考察する。事例として、「クレーム処理」を取り上げる。</p>
第12週	<p>変革へのアプローチ②</p> <p>状況を把握する方法、コミュニケーションを円滑にする信頼の形成について論じる。仕事の方法を変化させるプロセスで信頼を崩壊させた事例を取り上げて、ディスカッションする。</p>
第13週	<p>変革へのアプローチ③</p> <p>説得するための技法と交渉を進めていくための戦略について考える。団体交渉の事例、あるいは文化に応じて異なる交渉スタイルの違いを取り上げて、議論する。</p>
第14週	<p>プレゼンテーション 第2回</p> <p>職場の組織のフォーマルな構造と職場の組織を実際に動かしているインフォーマルな仕組みについて報告してもらう。</p>
第15週	<p>ゲストスピーカーによる講演とディスカッション</p> <p>実際に、独自のアイデアを取り入れて、精力的に企業変革に取り組む企業のなかから担当者を招聘し、現場の話に基づいて、全体で議論する。</p>

<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【テキスト】 特に指定しない。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『組織の経営学』リチャード・L・ダフト著(ダイヤモンド社、2002年) ・『新版 組織行動のマネジメント』ステファン・P・ロビンズ著(ダイヤモンド社、2009年) ・『コミュニケーション戦略スキル』ハーバード・ビジネス・レビュー編(ダイヤモンド社、2002年) →品切であるが、図書館で利用可能。
<p>その他 特記事項</p>	<p>参加者の人数などの関係で、プレゼンテーションを実施する週、全体の予定は変更される。報告者の都合を勘案して、スケジュールは弾力的に調整される。ゲストスピーカーの招聘についても先方の予定を勘案して、日程を調整する。また、受講生の人数を考慮して、後期に開講する「戦略とビジネスモデルの革新」と共同開催になる可能性もある。</p>